

学校教育目標	豊かな感性、たくましい心と体、自ら学ぶ意欲をもつこどもの育成
育成を目指す資質・能力	言語能力(表現力・コミュニケーション能力)、問題発見・解決能力

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> ・6年生の全国学力・学習状況調査では国語・算数・理科全て全国・県の平均値を上回った。 ・5年生の県の学力定着状況調査では国語・算数・理科全て全国・県の平均値を上回った。 ・4年生は単元末テストの結果の平均値が「80点以上が80%」に届いていない。	<b>各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> ・6年生は学習に対して意欲的である。5年生は、学習規律の確立が整ってきており、向上している。学年により格差があることが課題。 ・学校評価アンケートでは「規律順守」94.5%、「ノートの活用」95.3%、「家庭学習」96.8%という結果だった。全校的に算数が苦手な傾向が依然として続いている。
	<b>これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から)</b> ・学習規律の確立が学級によって少し差がある。語先後礼等、小中一貫教育で確認した取組の徹底を継続している。 ・発言力が弱く、自分の意見を言えていない傾向がある。 ・読書量が少なく、学校評価アンケートでも「進んで読書をしている」と答えた児童は76.7%とアンケート中最も低い状況である。	
指導の状況	<b>1 組織的な授業改善の取組状況</b> ・1時間完結型の授業を全教職員が意識して行っている。 ・国語と算数では1時間に1回はペア・グループ学習に取り組みさせている。まだまだ自分の意見を言えていない傾向があるので、今後も継続していく。 ・自分の考えをもたせ、考える活動を継続して取り組む。	
	<b>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</b> ・学習規律の確立については、徐々に出来ているが継続していく。 ・読書量が少ないので読書活動に進んで取り組ませる。 ・習熟度別の学習がなかなか進んでいない。個別指導については、時間の捻出が難しい。 ・授業でICT機器を活用することのどの教員も進んで取り組んでいる。	

学力に関する達成指標

・単元末テスト(国・算)において80点以上の児童を80%以上にする。40点未満の児童を7%以下にする。 ・学校評価アンケートで「授業がよく分かる」と答える児童の割合を90%以上にする。 ・3年生以上の一人1台端末の家庭への週末持ち帰りを100%にする。
--

